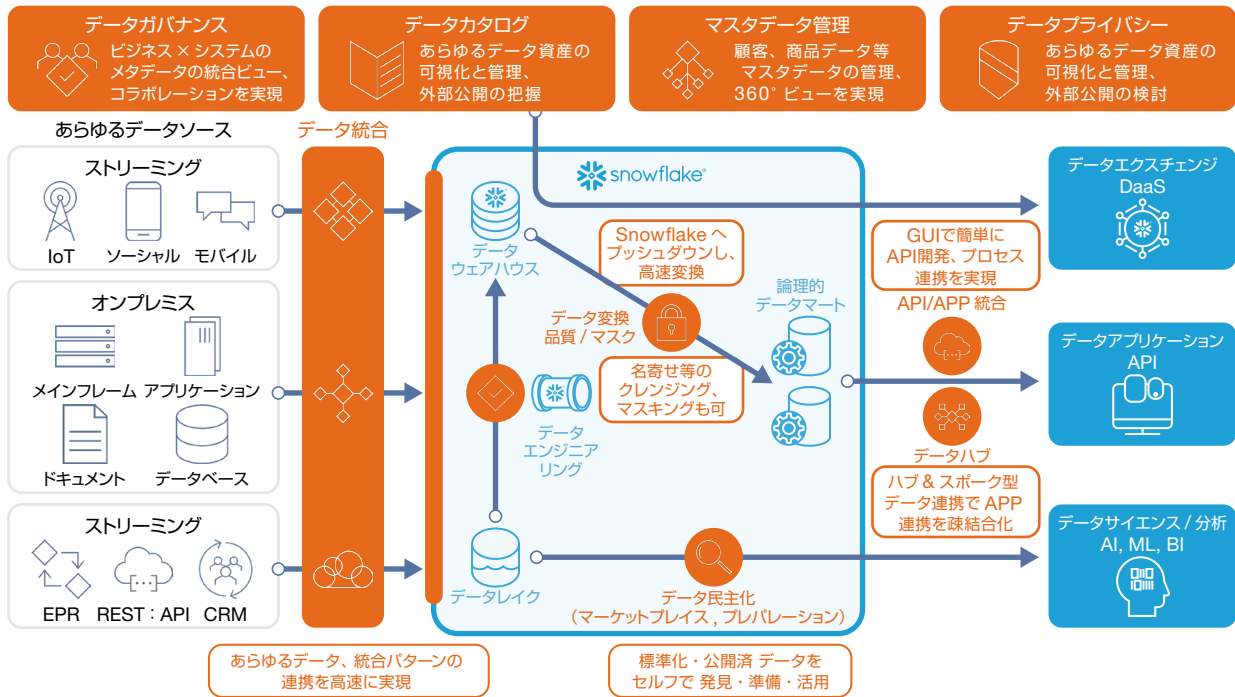


Snowflake とインフォマティカで実現する新しいクラウドデータプラットフォーム

Snowflake × インフォマティカ

様々なデータ統合処理を行えるインフォマティカのクラウドサービス Intelligent Data Management Cloud (IDMC) と Snowflake を連携させることにより、Snowflake の性能を最大限に生かしたクラウドネイティブな分析基盤を構築できます。また、IDMC ではデータ変換処理を GUI で行えるため、特定の言語に頼ることなくデータベースの処理が可能となり属人性の排除が可能です。



Intelligent Data Management Cloud (IDMC) Data Integration サービス

データ統合

Cloud Data Integration

- Peer to Peer (P2P) 型のデータ連携ソリューション
- 従来の ETL に加え、データ変換処理を接続先システムで実施するプッシュダウン (ELT) 機能
- ソースデータの変更差分検知された顧客体験を提供

ハブ型データ統合

Cloud Integration Hub

- データ連携を送信側 (Pub) と受信 (Sub) に疎結合化したハブ型のデータ連携ソリューション
- データ連携の冗長性を排除すると共に、運用管理を一元化

アプリケーション統合

Cloud Application Integration

- オンプレミスの資産を活用し GUI で簡単に API 開発し、管理
- 複数の API を組み合わせ、アプリケーションや業務プロセスを開発

Snowflake

Snowflake はレガシー DWH アーキテクチャと比べて、大量のデータをスケラブルに、クラウド特性を生かした分散処理構成を実現しています。また、DBMS 原則である ACID を守り、アナリティクス向けデータベースとして最適なアーキテクチャを備えています。

- シングルデータベースで、データを 1ヶ所で管理可能
- 複数のコンピュートクラスター群が ACID を担保しながら、共有データを読み書きし、かつクラスターサイズの時時変更が可能
- ロジカルアセット (ウェアハウス、データベースなど) を一元管理することで、ユーザはサーバやバケットなどの管理が不要
- 活用した分だけ利用料を支払うため、事業単位など利用料の明確化が可能
- 無停止リリースが可能で、随時機能の拡張や自動バージョンアップに対応

